

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 3 区分

【発行日】平成 29 年 3 月 30 日 (2017.3.30)

【公開番号】特開 2015-185080 (P2015-185080A)

【公開日】平成 27 年 10 月 22 日 (2015.10.22)

【年通号数】公開・登録公報 2015-065

【出願番号】特願 2014-63241 (P2014-63241)

【国際特許分類】

G 0 6 F 3/12 (2006.01)

B 4 1 J 29/38 (2006.01)

【F I】

G 0 6 F 3/12 K

B 4 1 J 29/38 Z

【手続補正書】

【提出日】平成 29 年 2 月 21 日 (2017.2.21)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

印刷データに従って印刷処理を実行するプリンターに接続される制御装置であって、
前記印刷データを前記プリンターへ送信する送信調整部を備え、
前記送信調整部は、前記印刷データを前記プリンターへ送信する前に、前記印刷データのうちのイメージデータが記憶される前記プリンターの実行バッファのデータ記憶状況に基づいて、当該実行バッファにおけるデータ消去処理の要否を決定し、前記データ消去処理が必要であると決定した場合に、前記データ消去処理を指示するコマンドを前記プリンターへ送信する、プリンターの制御装置。

【請求項 2】

請求項 1 において、

前記送信調整部は、前記プリンターへ情報要求コマンドを送信して前記データ記憶状況の情報を取得し、取得した当該情報が前記実行バッファに前記イメージデータが残っていることを示す場合には、前記実行バッファにおける前記データ消去処理が必要であると決定する

ことを特徴とするプリンターの制御装置。

【請求項 3】

請求項 1 または 2 において、

前記印刷データは、複数のラベルを印刷するためのデータである

ことを特徴とするプリンターの制御装置。

【請求項 4】

請求項 1 乃至 3 のいずれか一項において、

前記実行バッファは、前記イメージデータを他の印刷データとは別に記憶するバッファである

ことを特徴とするプリンターの制御装置。

【請求項 5】

印刷データに従って印刷処理を実行するプリンターと前記プリンターに接続される制御装置と、を有するプリントシステムであって、

前記制御装置は、前記印刷データを前記プリンターへ送信する送信調整部を備え、
前記プリンターは、前記印刷データのうちのイメージデータが記憶される実行バッファを備え、

前記送信調整部は、前記印刷データを前記プリンターへ送信する前に、前記実行バッファのデータ記憶状況に基づいて、前記実行バッファにおけるデータ消去処理の要否を決定し、前記データ消去処理が必要であると決定した場合に、前記データ消去処理を指示するコマンドを前記プリンターへ送信する

ことを特徴とするプリントシステム。

【請求項 6】

印刷データに従って印刷処理を実行するプリンターに接続されるホスト装置における制御方法であって、

前記印刷データを前記プリンターへ送信する前に、

前記印刷データのうちのイメージデータを記憶する前記プリンターの実行バッファのデータ記憶状況に基づいて、当該実行バッファにおけるデータ消去処理の要否を決定し、

前記データ消去処理が必要であると決定した場合に、前記データ消去処理を指示するコマンドを前記プリンターへ送信する、

ことを特徴とする制御方法。

【請求項 7】

印刷データに従って印刷処理を実行するプリンターに接続されるホストコンピューターに処理を実行させる制御プログラムであって、

前記印刷データを前記プリンターへ送信する送信工程と、

前記送信工程の前に、前記印刷データのうちのイメージデータを記憶する前記プリンターの実行バッファのデータ記憶状況に基づいて、当該実行バッファにおけるデータ消去処理の要否を決定する決定工程と、

前記データ消去処理が必要であると決定した場合に、前記データ消去処理を指示するコマンドを前記プリンターへ送信する工程と、を前記ホストコンピューターに実行させる

ことを特徴とする制御プログラム。